

令和3年度ひろがる読書推進事業 図書館サポーター養成講座受講申込み

申込用紙をファクシミリまたはメールにてお送りください。
 メールの場合は、タイトルに「図書館サポーター養成講座受講申込み」とお書きの上、記入事項をメール本文に記載してください。

送付先 FAX : 088-621-2884
 E-mail : syougaigakusyuka@pref.tokushima.jp

申込締切 令和3年6月30日(水)
 定員の30名に達し次第締切(県のホームページでお知らせします)

徳島県 生涯学習課 検索

申込フォーム



ホームページ

お申込み日：令和3年 月 日

お名前 (ふりがな)	
ご住所	〒
電話番号	
メールアドレス (連絡はメールで行います)	
活動経験 (例) 読み聞かせ団体に所属・ 元教員・司書免許保有・支援員・ ボランティア活動経験 など	
応募理由	

※ご記入いただいた個人情報は、この事業の案内以外には使用いたしません。

【問合せ先】 徳島県教育委員会生涯学習課 学校・家庭・地域連携担当(前田)
 TEL. 088-621-3148

令和3年度ひろがる読書推進事業

図書館サポーター養成講座 受講者募集

徳島県の小・中学校では、専属の学校司書が配置されている学校は少なく、図書館が閉まっている時間が多いのが現状です。学校の先生方は多様化する多くの課題について対応をせまられ、多忙をきわめる中、図書委員の子供たち、市町村で少しずつ配置されるようになってきた図書館サポーター、ボランティアの方々などのお力を借りながら、学校図書館の運営を行っています。

このような現状から、徳島県教育委員会生涯学習課では「子供の読書活動推進協議会」の委員の方々からのご意見をふまえ、令和2年度より「図書館サポーター養成講座」を開設し、配置促進に努めています。

学校図書館の仕事は、図書の専門的知識と学校教育の知識の二つが要求される専門性の高い仕事であり、児童生徒や学校現場についての理解が不可欠です。このため、講義の内容も多岐にわたりますが、見学・実習や交流の時間も設定し、図書館サポーター同士のつながりをつくる契機にもしたいと考えています。学校の先生方と連携しながら、地域の小・中学校図書館の運営を支援し、子供たちの読書環境充実のために力になりたいと思う皆さまからの応募をお待ちしています。

募集定員：30名
 (定員に達し次第締め切ります)

- 対象者**
- ・地域の小・中学校図書館の運営を支援したいと考えている人
 - ・現在、小・中学校で読み聞かせや図書館整備のボランティア等に携わっている人
 - ・司書や司書教諭の免許を持っていて退職後等に図書館運営に関わりたいたいと考えている人
 - ・原則8日間全て受講できる人

令和3年度の開催日・講座内容 (詳細は内側をご覧ください)

第1回	7/4(日)	①学校図書館の基本	②学校図書館の役割	四国大学准教授 杉山 悦子先生
第2回	8/7(土)	③児童生徒理解～小学校	④学校現場理解～小学校	徳島新聞NIEコーディネーター 野口 幸司先生
第3回	9/20(月・祝)	⑤児童生徒理解～中学校	⑥学校現場理解～中学校	徳島文理大学准教授 津守 美鈴先生
第4回	10/17(日)	⑦特別な支援を必要とする児童生徒への理解と支援	⑧視覚障がい等のある児童生徒への読書支援	特別支援・相談課指導主事 白桃 智子先生 視覚障がい者支援センター主任支援員 三井 貴浩先生
第5回	11/7(日)	⑨児童生徒が生き生きとする学校図書館づくり	⑩児童生徒と本をつなぐアニメーションの可能性	徳島市立図書館副館長 廣澤 貴理子先生
第6回	11/27(土)	⑪図書館サポーターの仕事とは	⑫図書館整備の方法～実習を中心に	鳴門市図書館サポーター 恵美 純子先生 鳴門市立図書館NPO法人ふくろうの森 吉成 悦子先生
第7回	12月(予定)	小・中学校図書館の見学・実習		鳴門市図書館サポーターの方々
第8回	12/19(日)	発表会・意見交換会	アンケート、修了証交付	現図書館サポーター・生涯学習課

日程・場所

- ・受付：午前9時15分より 午前の講義：9：30～12：00 午後の講義：13：00～15：30
- ・場所：徳島県総合教育センター [研修室1] (板野郡板野町犬伏字東谷1-7)
- ・見学・実習の日程及び場所については、詳細が決まり次第追って連絡いたします。

* 講座を修了した方には修了証をお渡しします。
 * 参加料・資料代は不要です。交通費は自己負担でお願いします。昼食も各自ご用意ください。
 * 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、開催方法を変更する場合がありますのでご了承ください。

【問合せ先】 徳島県教育委員会生涯学習課 学校・家庭・地域連携担当
 電話 088-621-3148 FAX 088-621-2884
 Eメール syougaigakusyuka@pref.tokushima.jp

日程の詳細

■第1回 講義 日時：7月4日(日) 9:15~16:00

講師：四国大学文学部日本文学科准教授(図書館学) 杉山 悦子先生

場所：総合教育センター 研修室1

受付	開会行事 本講座の趣旨 講師紹介 受講者の自己紹介 (生涯学習課)	①学校図書館の基本 ・歴史にみる学校図書館の意義 ・学校図書館の法と制度 ・図書館教育の重要性 ・子供の居場所としての学校図書館 (休憩10分)	昼食	②学校図書館の役割 ・学校司書の職務と役割 ・日本十進分類法と分類の大切さ ・学校図書館における配架 ・調べ学習と学校図書館 (休憩10分)	質疑 応答
	9:15 9:30 9:45 12:00 13:00 15:30 16:00				

■第2回 講義 日時：8月7日(土) 9:15~16:00

講師：徳島新聞NIEコーディネーター(元小学校長) 野口 幸司先生

場所：総合教育センター 研修室1

受付	③児童生徒理解の基礎 ～小学校を中心に ・現代の小学生をめぐる状況 (9歳の壁を越えられない子供たち) ・子供がおもしろいと感じる本の特性 ・児童の居場所としての図書館 (休憩10分)	昼食	④学校現場理解の基礎 ～小学校を中心に ・体験授業の大切さ ・読書指導の実践例 ・子供の発達段階に応じた選書 ・学校図書館のあり方について (休憩10分)	質疑 応答

■第3回 講義 日時：9月20日(月・祝) 9:15~16:00

講師：徳島文理大学人間生活学部児童学科准教授 津守 美鈴先生

場所：総合教育センター 研修室1

受付	⑤児童生徒理解の基礎 ～中学校を中心に ・子供の発達と心理(幼から中まで) ・現代の中学生をめぐる状況 ・デジタル世代の子供の「脳」と読書 ・中学生にとっての図書館 (休憩10分)	昼食	⑥学校現場理解の基礎 ～中学校を中心に ・現代の中学校教育のカリキュラム ・教員の状況とサポートの方法について ・読書支援の方法 ・発達段階に応じた読書 (休憩10分)	質疑 応答

■第4回 講義 日時：10月17日(日) 9:15~16:00

講師：特別支援・相談課指導主事 白桃 智子先生

視聴覚障がい者支援センター主任支援員 三井 貴浩先生

場所：総合教育センター 研修室1

受付	⑦特別な支援を必要とする 児童生徒への理解と支援 ・発達障がい等の理解 ・見え方・聞こえ方の疑似体験 ・ポジティブな行動支援について (休憩10分)	昼食	⑧視覚障がい等のある児童生徒 への読書支援 ・デイジー図書とマルチメディアデイジー 図書等の紹介と入手方法 ・読書支援機器の紹介 (休憩10分)	質疑 応答

■第5回 講義 日時：11月7日(日) 9:15~16:00

講師：徳島市立図書館副館長 廣澤 貴理子先生

場所：総合教育センター 研修室1

受付	⑨児童生徒が生き生きとする 学校図書館づくり ・子供の心のパラダイスに ・アイデアと工夫で温もりある環境に ・読みたい気持ち、知りたい気持ちに 応えるために ・公共図書館を学校図書館のバック グラウンドに (休憩10分)	昼食	⑩児童生徒と本をつなぐ アニメーションの可能性 ・わくわく!学校図書館を中心とした読書活動 ・多様な分野への架け橋となるアニメーション ・親子の絆を深めるアニメーション ・子供が主役となる創造的活動 ・アニメーションを体験しましょう (休憩10分)	質疑 応答

■第6回 講義 日時：11月27日(土) 9:15~16:00

講師：鳴門東小学校・鳴門中学校図書館サポーター 恵美 純子先生

鳴門市立図書館NPO法人ふくろうの森 吉成 悦子先生

場所：総合教育センター 研修室1

受付	⑪図書館サポーターの仕事とは ・鳴門市でのサポーター導入の経緯と 取組の紹介 ・図書館サポーターの仕事の実際 ・子供たちや先生方とどう関わるか (休憩10分)	昼食	⑫図書館整備の方法 ～実習を中心に ・学校図書館の環境整備の方法 ・傷んだ図書の修繕方法等 ・POPの作り方 ・牛乳パックスタンドの作り方 (休憩10分)	・見学及び実 習につい ての連絡 ・質疑応答 (+生涯学習課)

■第7回 小・中学校の見学及び実習(12月の平日)

・鳴門市図書館サポーターの方々を講師として、小中学校図書館での書架整理や図書の修繕の実習を行います。(詳細は後日連絡します)

■第8回 日時：12月19日(日) 9:15~15:00

参加：受講者・現図書館サポーター・生涯学習課

場所：総合教育センター 研修室1

受付	発表会・意見交換会 ・受講者によるブックトーク・アニメ ーション等の発表会 ・図書館サポーターとの意見交換 (休憩10分)	昼食	個別の振り返り ・講義・見学・実習についての感想及び 意見、今後の研修等についての要望な どを記述アンケート形式で回答 (休憩10分)	閉会行事 修了証の交付